

事業者排出量削減計画書（新規 **変更**）

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都府綾部市とよさか町1番地					
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	トステム綾部株式会社 工場長 田原 明					
事業者の主たる業種	木製品製造業					
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上／タクシー150台以上／鉄道車両150両以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））					
計画期間	平成20年 4月 ～ 平成23年 3月					
基本方針	<b>【環境理念】</b> 環境に配慮する住生活総合企業として、かけがえのない地球環境保護と、人類の住生活向上に寄与する為、積極的かつ継続的に行動します。 <b>【取組指針】</b> ①地球環境保護に貢献します。 ②人類の住生活向上に寄与します。					
推進体制	環境管理委員会組織による					
	環境マネジメントシステム名称	JISQ 14001：2004/ISO 14001：2004		JMAQA-E382		
	適用範囲	住宅並びにビル用建材等の商品開発設計段階から資材調達、生産、工事、営業の諸活動並びに本社における管理業務全般				
	取得年月日	2003年3月20日	第二回更新：2009年3月20日			
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	計画内容			
	20～21	コンプレッサー	エアー配管ループ化改修工事、コンプレッサー室内温度環境改善、INV付コンプレッサー導入			
	20～23	生産設備	一次側配線の最適化			
	20～23	受変電設備	空調用トランスの中間OFF、トランスの集約。			
	20～21	照明	蛍光灯、水銀灯の引き換え。省エネ型照明への更新。			
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）		
	A 事業所等排出区分	2,950.0 t	2,654.0 t	-10.0 %		
	B 輸送車両排出区分	t	t	%		
	C その他排出区分	t	t	%		
	排出合計	*1 2,950.0 t	*2 2,654.0 t	-10.0 %		
	目標設定の考え方	生産量7%減+原単位3%減を見込み算出				
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	
	工場	二酸化炭素換算 生産高(百万円)	0.344 t-CO2/百万	0.333 t-CO2/百万	-3.2 %	
		二酸化炭素換算			%	
		二酸化炭素換算			%	
	原単位の指標及び計画数値設定の考え方	毎年、原単位約1%減を見込み算出				
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）				
		取組量等		（二酸化炭素換算）		
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）		t
	府内産の木材の利用	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）		t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（発電量）	kwh	（削減量）		t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）		t
	グリーン電力の購入	（購入量）	kwh	（削減量）		t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（購入量）	t	（削減量）		t
削減量等合計				*3 t		
差引排出量 （排出合計－削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）			
	*1 2,950.0 t	*2-(*3) 2,654.0 t	-10.0 %			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	当社の事業活動が与える地球環境負荷を限りなく削減する為、商品開発から顧客の使用・廃棄等全ての段階で定量的に把握し、具体的な行動計画を策定して実現を図ります。 A：事業活動の全段階において環境影響を適正に評価し行動します。 B：全社環境委員会を中心として組織的な継続的改善と汚染の予防を実施します。 C：全段階において法及びその他関連要求事項を順守し行動します。 D：活動の実績について定量的に点検・見直しを行いフィードバックを掛けます。 E：全従業員並びに当社の活動に関与する全ての人を対象に環境への意識改革のため教育訓練及び啓発活動を実施します。 F：環境の取組に関する情報公開を積極的に行います。					
特記事項	95年度に創業し、電力使用量のピークが01年度となっていますが、01年度以降省エネ活動を強力に推進し、毎年原単位1%以上減を達成し、電力使用量としては01年度ピークの約65%となっています。 工場創業当時より、工場から排出される木屑を燃料とした、木屑焚きボイラー設備を導入しており、工場内の冷暖房に利用していますが、余剰蒸気を有効活用するため、05年度より蒸気タービン発電機を導入し、さらなる有効活用を行っています。					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。

4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

5 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実施、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。